

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（1153））

2. 日時：平成30年7月25日 14時00分～16時10分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室

4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

江崎企画調査官、吉村上席安全審査官、千明主任安全審査官、日南川安全審査官

事業者：

日本原子力発電株式会社：発電管理室 副室長 他5名

東北電力株式会社：土木建築部（火力原子力土木） 担当 他1名

東京電力ホールディングス株式会社：原子力設備管理部 土木技術グループ 担当 他3名

中部電力株式会社：原子力部 設備設計グループ 担当 他1名

中国電力株式会社：電源事業本部（原子力耐震） 担当 他1名

電源開発株式会社：原子力技術部 設備技術室 担当 他1名

5. 要旨

（1）日本原子力発電から、本日の提出資料に基づき、東海第二発電所の工事計画認可申請に係る津波への配慮に関する説明書について説明があった。

（2）原子力規制庁から主に以下の点について指摘を行った。

<放水路ゲートの耐震性についての計算書>

- 応力評価条件の数値について、マスキングが必要ないか確認すること。
- 放水路ゲートの許容応力評価条件について、どのような条件（荷重、ゲートの状態等）で評価しているのかを整理して提示すること。
- 支圧板のローラー接触面の許容応力の算定に用いているブリネル硬さの値（規格値又は実測値）を記載すること。

<除塵装置の取水性への影響について>

- 除塵装置の取水性影響評価に関し、水位差の考え方、応力の算定の考え方、許容値の設定根拠を整理して提示すること。

（3）日本原子力発電から、本日の指摘等について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

- ・【論点1】鋼製防護壁の止水機構の地震時における追従性
- ・東海第二発電所 工事計画に係る説明資料（V-1-1-2-2 津波への配慮に関する説明書）
- ・V-2-10-2-3 放水路ゲートの耐震性についての計算書
- ・V-3-別添3-2-2 放水路ゲートの強度計算書